

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	第12回がん専門研修B 事例研究
	研究目的	在宅緩和ケアへ移行する終末期がん患者の意思決定を支える看護師の援助の内容を明らかにする。 近年終末期がん患者の在宅療養の推奨がされている中で、常日頃意思決定の難しさを感じるが多々ある。 今回この研究では、当センターで2016年5月から2017年2月までに治療を繰り返し、がん終末期で療養場所の決定に迷い、残された時間を自分らしくありたいと願う患者とその家族の関わりを通し、意志決定支援に難渋した1事例を取り上げ患者・家族の持てる力が発揮されるための看護支援のあり方について診療録記載を利用して、事例研究を実施します。
	研究期間	西暦 2017 年 10 月 11 日 ~ 西暦 2018 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	高野 忍
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし